

細胞制御学分野

A 欧文

A-a

1. Tanimura S., Hashizume J., Kurosaki Y., Sei K., Gotoh A., Ohtake R., Kawano M., Watanabe K., Kohno M. Genes Cells. 16, 514-526, 2011. (IF: 2.889)
2. Kawaratani Y., Harada T., Hirata Y., Nagaoka Y., Tanimura S., Shibano M., Taniguchi M., Yasuda M., Baba K., Uesato S. Bioorg. Med. Chem. 19, 3995-4003, 2011. (IF: 2.978)

A-b

1. Kohno M., Tanimura S., Ozaki K. Targeting the extracellular signal-regulated kinase pathway in cancer therapy. Biol. Pharm. Bull. 34, 1781-1784, 2011. (IF: 1.811)

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	0	0	7

社会活動

氏名	委員会等名	関係機関名
尾崎恵一・ 准教授	代議員	日本薬学会
尾崎恵一・ 准教授	「生化学」誌企画協力委員	日本生化学会

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
尾崎恵一・ 准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) HDAC 阻害剤による「がんの個別化治療」 確立のための基礎的検討
尾崎恵一・ 准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) ERK-MAP キナーゼ経路の選択的遮断を基 盤としたがん化学療法の開発
谷村 進・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 (B) 新規細胞運動制御因子 SH3P2 の機能解析
谷村 進・助教	長崎大学	代表	大学高度化推進経費 (若手研究者への研究支援事業) 新規細胞運動制御因子 SH3P2 の機能解析
谷村 進・助教	長崎大学	分担	第二期重点研究課題 ゲノム不安定性と発がん分子メカニズムの 基礎研究拠点形成
谷村 進・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) ERK-MAP キナーゼ経路の選択的遮断を基 盤としたがん化学療法の開発